

建物に関して

第25回ERL検討会(2008.09.19)

- 前回のERL検討会からの経過
- 東カウンタホール更地化に向けて
- 放射線の変更申請に向けた準備

前回のERL検討会からの経過

- 8月13日 東カウンターホールの明け渡しに関する打合せ
(西川、高崎、神谷、佐藤、家入、伴、春日)
基本方針の確認、素核研アクティビティの移転・終了と
cERL建設スケジュールの整合性、片付け実務は担当者
- 9月 5日 東カウンターホールの利用法変更の話し合い(実務者)
(家入、春日、長橋、芳賀)
移転の具体的スケジュール、素核研が考える最終形、費用
→関係者の意見を家入氏が調査
- 9月 5日 東カウンターホールの放射線変更申請の打合せ
(伴、佐々木、穂積、春日、長橋、芳賀)
- 9月17日 東カウンターホールの利用法変更の話し合い(実務者)その2
(家入、春日、長橋、芳賀)
家入氏調査の結果整理

東カウンタホール更地化に向けて

- 素核研アクティビティ移転のスケジュール
- 移転後残留希望の素核研アクティビティ
- 移転後も残る物品
- 費用負担
- 更地化作業
- 冷却水設備と電気系統

素核研アクティビティ移転のスケジュール

- 2008/10 現在

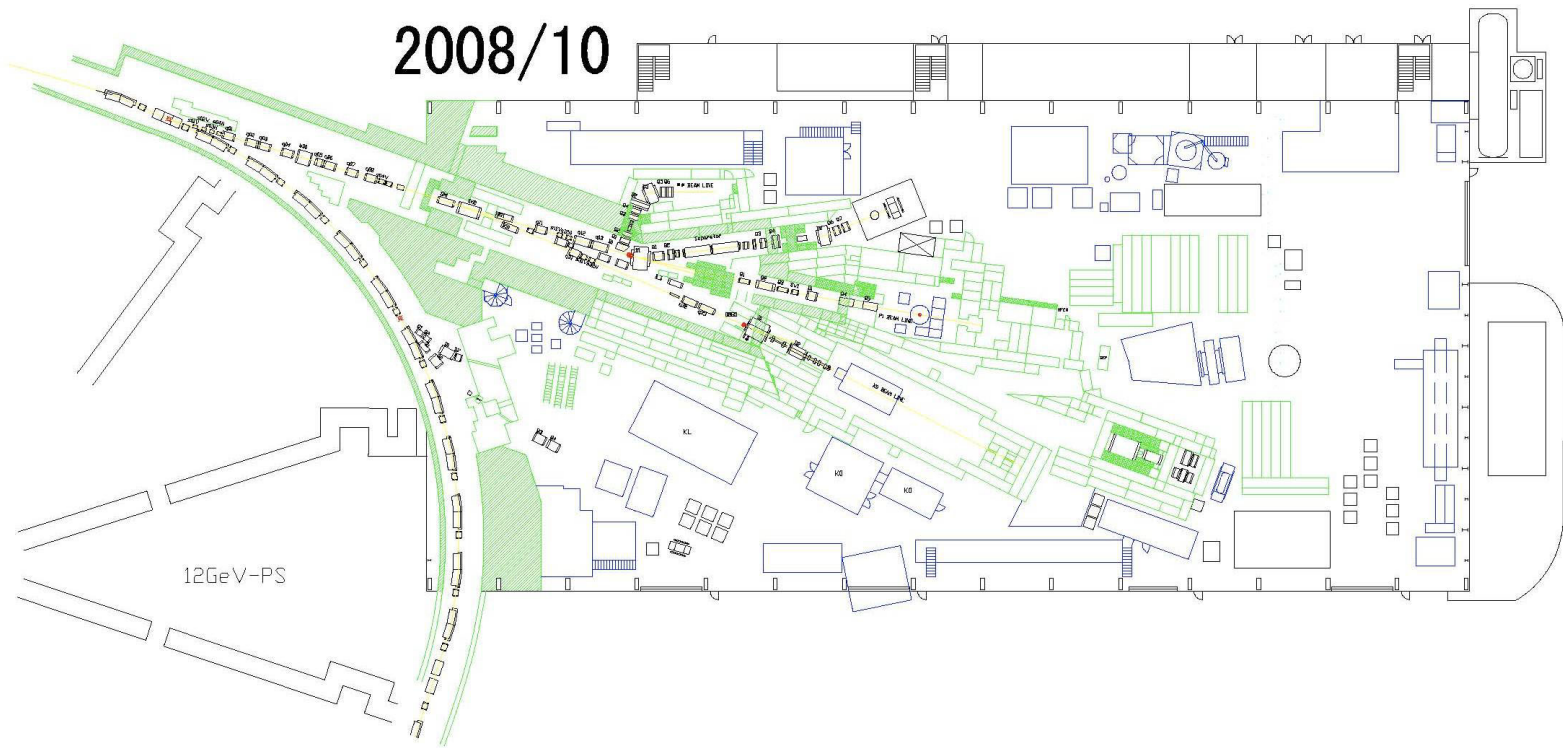


- 2009/10 J-PARCへの現在の移転計画完了
予算の手当て有り



- 2010/04 更地化完了、ERL建設開始

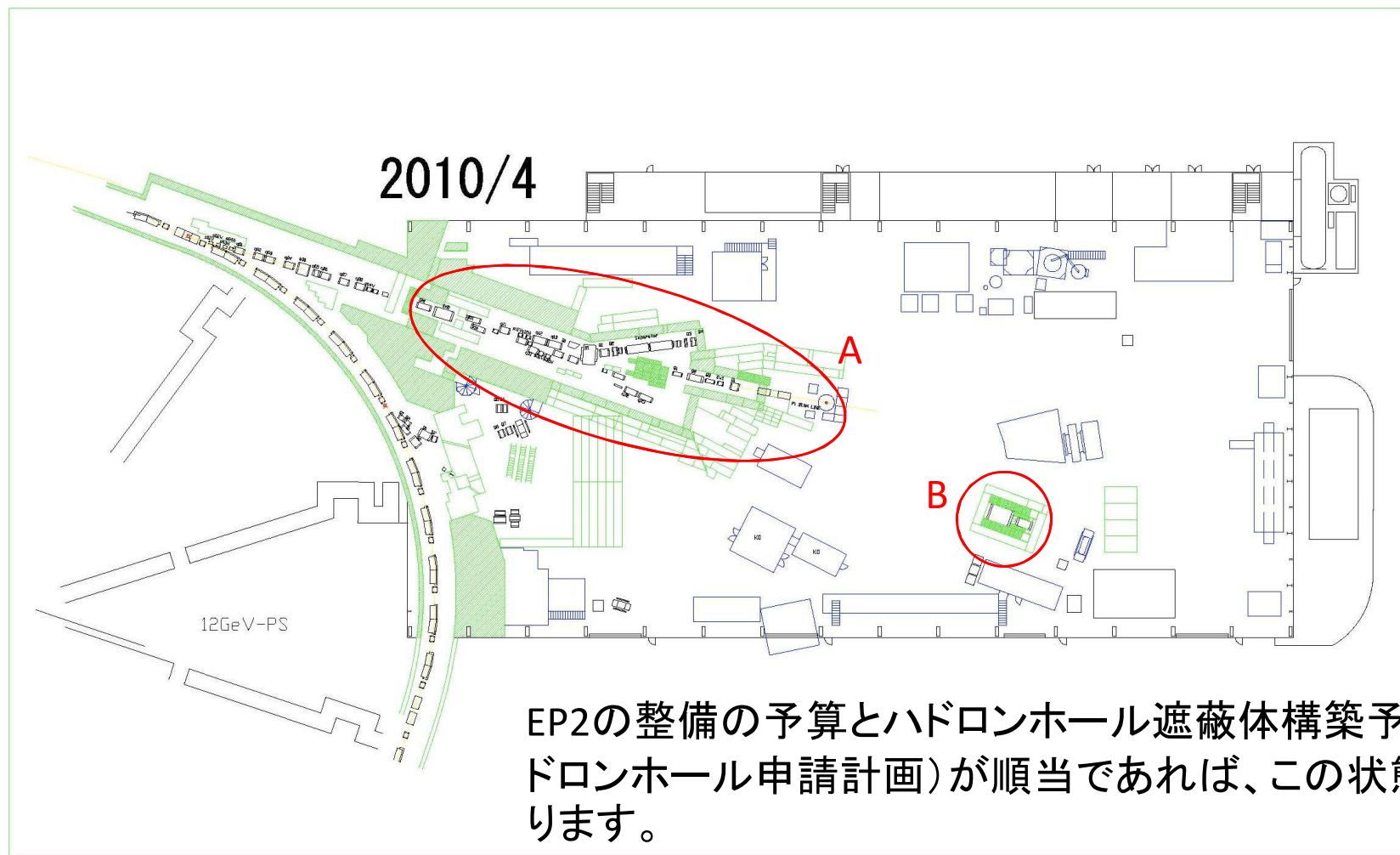
2008/10



12GeV-PS



現在のJ-PARCへの移設計画による一年後の予定図。
予算の手当もありこの状態にはなりません。



EP2の整備の予算とハドロンホール遮蔽体構築予算(ハドロンホール申請計画)が順当であれば、この状態になります。

尚、EP2の放射線変更申請により、AとBの2カ所は図の状態を検査を受けます。つまり、一度この状態にする必要があります。時期は問われていません。

これ以降は、東カウンターホールを利用するグループによる利用計画に従って、変更申請が必要になります。

更地化の理想図の例

東カウンターホール内EP2最上流部

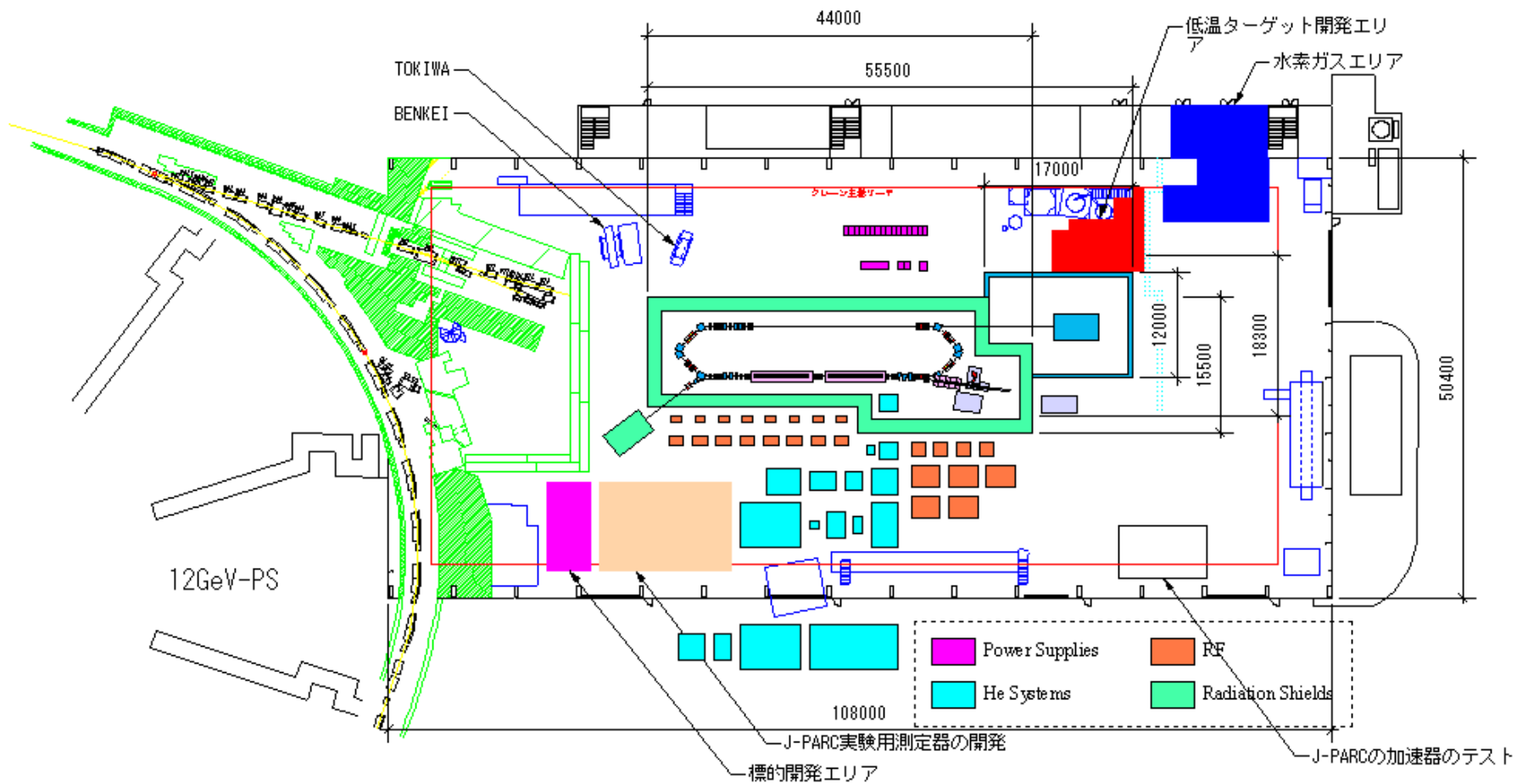
「ランバートソン電磁石」「遮蔽体構造」「床の段差」

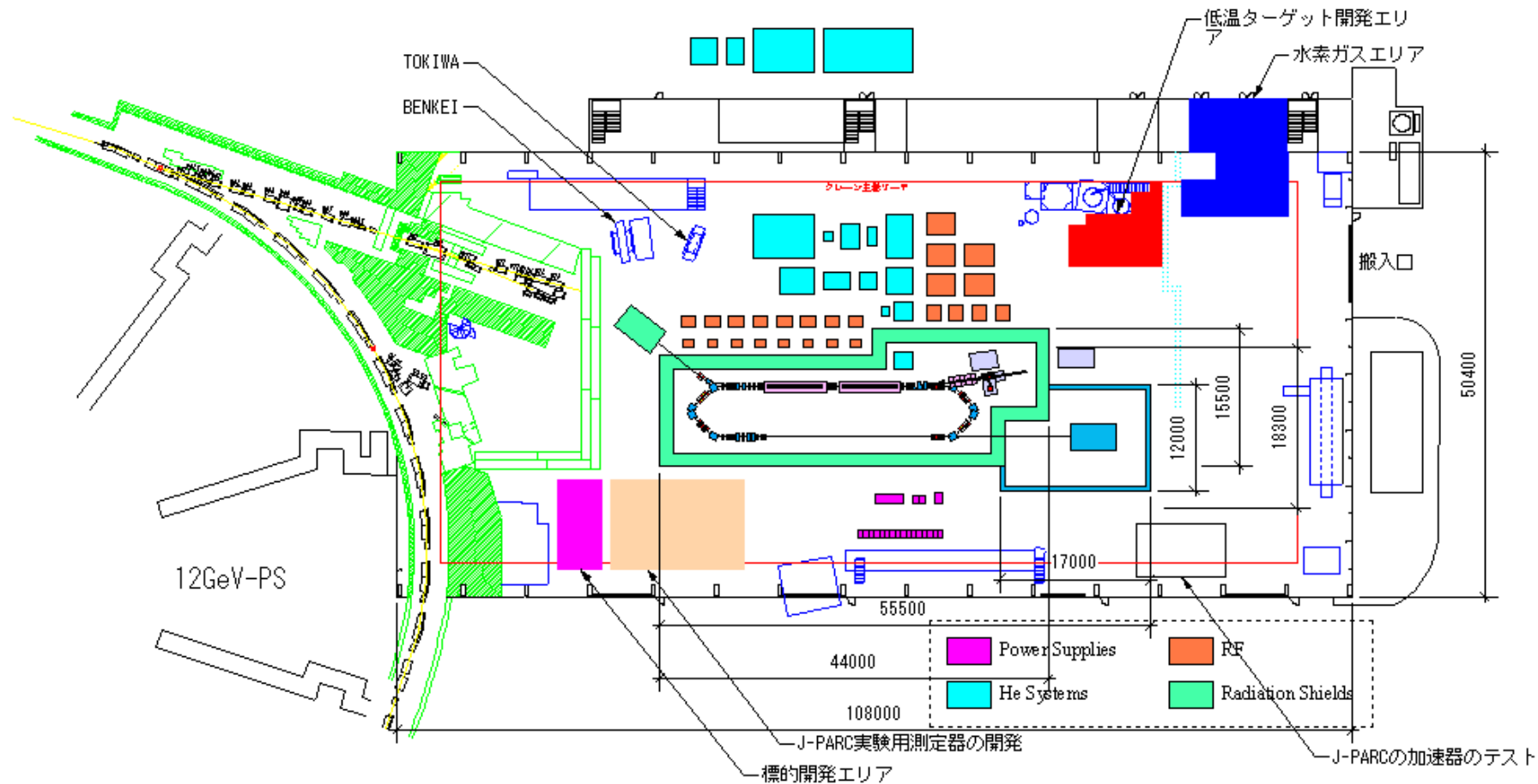
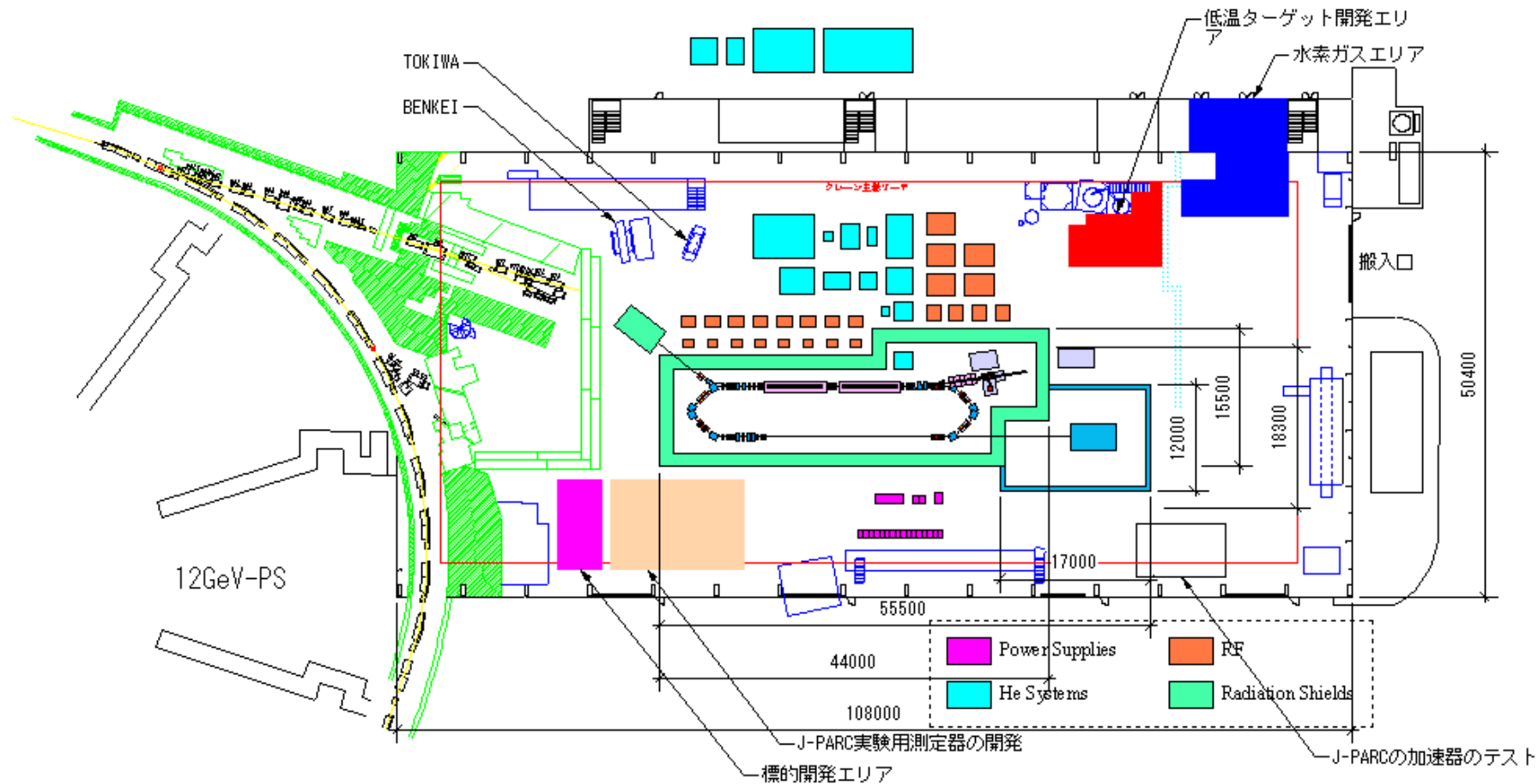
高放射化電磁石の保管場所



移転後残留希望の素核研アクティビティ

- 1) 水素標的(低温グループ)約80m² 希望
北東隅の水素ガスエリア、防爆設備
- 2) 低温ターゲット(ハドロン実験)約80m²希望
水素標的のそばが望ましい
- 3) 標的開発エリア(ニュートリノ)約50m²希望
現在西南隅を使用
- 4) J-PARC実験用測定器開発(実験グループ)
約150m²希望、ホール内のどの場所でも可

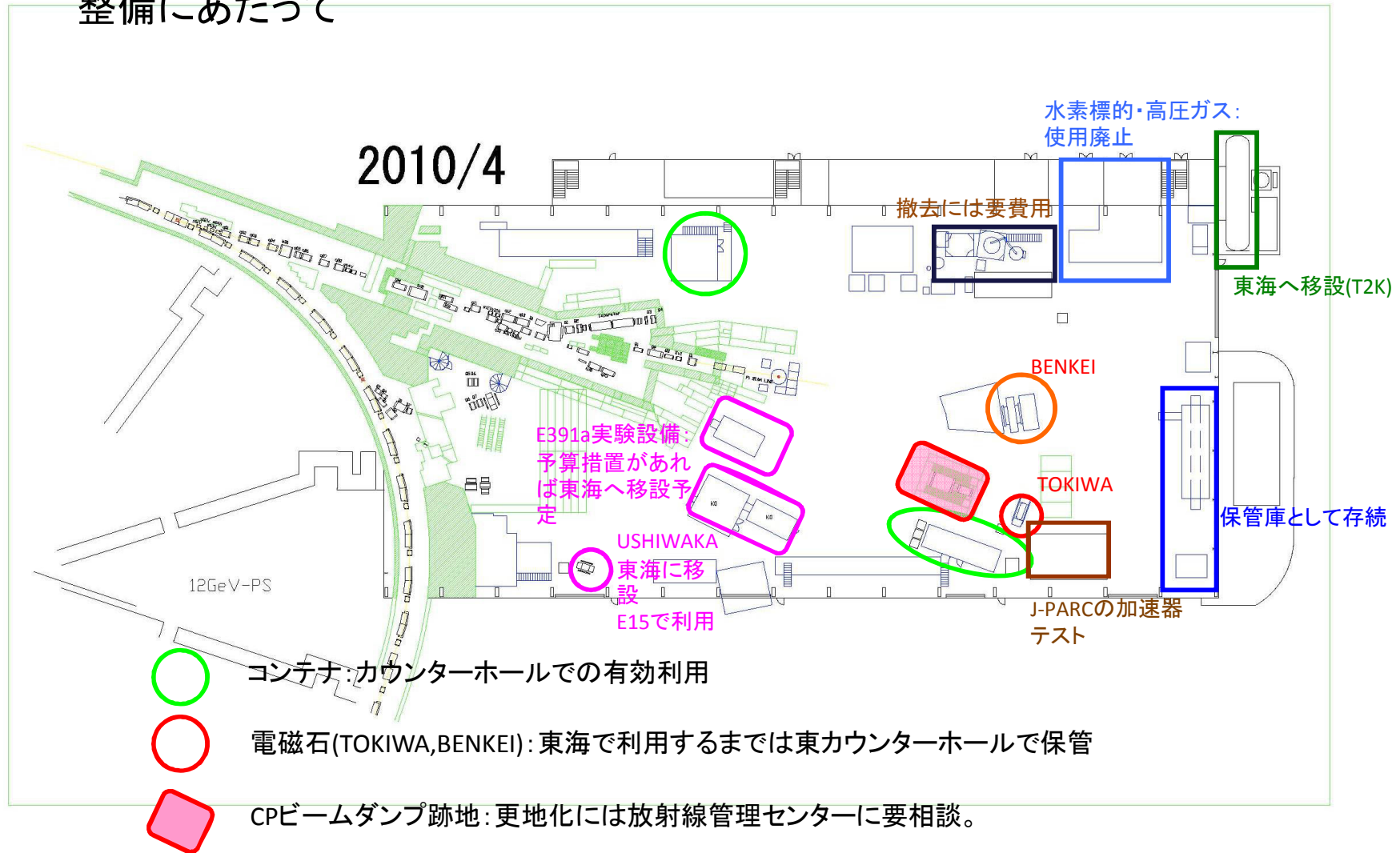




移転後も残る物品

- E391a実験設備と「USHIWAKA」
- コンテナ
- CPビームダンプとビームライン床（放射化？）
- 「BENKEI」「TOKIWA」
- 人と物品の出入管理者
- 3階建部分に5名の居室と保管物品

整備にあたって



費用負担

- 2009/10 の形までは素核研予算あり
- 移転後残存物品の移動費用などは未定
- 廃棄物品の処理費用も未定
- 「更地化」にかかる費用の見積りを、
素核研・家入氏に依頼
- 放射線変更申請にかかわる費用(→後述)

更地化作業

- 2010年4月のERL建設開始までに更地化
- 更地化作業で予算以外にネックになる要素の有無
 - 家入氏へ調査依頼
- 作業指示は素核研の方々へ依頼
 - 基本的には了承

冷却水設備と電気系統

- 冷却水

現在純水は、P2(旧設部)とP2A(新設部)の2系統
未処理水として P10 系統、それに市水

- 電気系統

南側に S18 (6.6KV) 数MVA?

北側に S17 (6.6KV) 400,200,100V 数MVA?

放射線の変更申請に向けた準備

○申請のスケジュール

- ・2010/04 からERL建設
- ・2009/10 までに、更地にもってゆける条件(変更申請)を整える
- ・申請には通常、安全審議会に出してから半年
- ・逆算すると2009/03 の安全審議会開催を目指して資料準備
- ・現在の申請内容から、1mの遮蔽体を動かす時点で要変更申請

○関連費用

- ・安全関連機器の費用(ゲートモニタ、出入り管理用機器類)
→放射線に見積り依頼
- ・床のボーリング調査(50~60万円)

放射線の変更申請に向けた準備

○申請の方針

- ・管理区域の範囲
- ・二段階での申請を考慮
 - ①放射線変更申請
 - ②ホール内の一般区域化
- 撤去作業、ERL建設作業が容易

○申請に必要な書類

- ・放射化物保管スペースの遮蔽体外側での線量評価(穂積氏)
 - 遮蔽体厚さは一般区域化を担保したもの(~2mか)
- ・書類準備は、佐々木・穂積・芳賀・長橋が担当